



Maquet Yuno II 移動型手術台

高難度低侵襲手術への礎



治療成果の向上

— 進化した外科ワークフロー —

Maquet Yuno IIは、整形外科、外傷性疾患、脳神経外科の高度な外科技術が必要とする、広範で、正確で、容易な調整機能を装備しています。

Getingeは、人々の健康、安全、福祉に対し、真の情熱をもって取り組み続けています。1904年に創設され、そのルーツは1838年にまで遡ります。企業買収などを経て成長を続けることにより、グローバルマーケットリーダーとしての地位を得ています。

Getingeは、クリニカルパス全体におけるソリューションとサポートを提供し、Maquetブランドをはじめ、質の高い製品ブランドを取り揃えています。

それは信頼の証であり、絶えず進化する医療技術に対する継続的な責任の表れでもあります。緊密な医療パートナーシップを維持しながら、現実の臨床ニーズに対応し、患者様のサポートおよび合併症防止への積極的な取り組み、さらには医療コストの削減に努めています。

外科医の要望に基づいて開発したMaquet Yuno IIは、オープンまたは低侵襲治療で良好な結果を得るために必要なポジショニングとアクセスを実現します。

この手術台は、あらゆる診療科に合わせて調整できるため、選択の幅が広がり、手術室の機能を有効活用できます。

操作は簡単で、複雑な処置でも容易にポジショニングできるため、医師にとって最も大切なこと、つまり患者様に集中できます。



Maquet Yuno II

将来のための基盤

整形外科と脳神経外科では低侵襲技術がますます普及していますが、それには複雑なポジショニングにも効果的に対応し、術中イメージングをサポートする、頑丈で多目的の手術台が必要です。また、病院では、セットアップが容易で、予測できない外傷のケースにも対応できる、昼夜を問わず患者様を迅速に支援できる手術台が必要とされています。

低侵襲技術に適した選択

低侵襲手術 (MIS) は、治療成果を向上させコストを節約できます。侵襲を小さくするほど、患者様の外傷が小さくなり、出血が抑えられ、感染のリスクが減少し、回復を早めて入院期間を短くできます。MISが標準になるにしたがい、股関節鏡検査から脛骨ネーリングまで幅広い処置に対応して適切なポジショニング角度を提供する、新たな手術台が求められるようになっていきます。

Maquet Yuno IIの多用途コンポーネントは、様々な体格の患者様の、様々なポジショニングを支持して、外科チームと患者様がMISのメリットを享受できるようにします。

前方アプローチによる股関節手術などのMIS治療では、患者様を術中に複雑に動かす必要があります。Maquet Yuno IIの適切に設計された一連のアクセサリーは、術中に必要に応じてスムーズにスライドまたは回転し、患者様を傷つけないようにしっかり固定できます。



コスト効果の高いリソース

どの病院も、より多くの業務、より良い作業、より安全に、というコスト増の圧力に直面しています。そのため、Maquet Yuno IIは、既存のアクセサリーにも広く対応できる設計になっています。

様々なポジショニングオプションとX線透過のアクセサリーを利用できるMaquet Yuno II手術台は、整形外科、外傷性疾患、脳神経外科の分野に適切な選択肢です。また、汎用手術台としても使用できる柔軟性があるため、手術室の機能を拡張できます。

既存の手術用アクセサリーを使用できるため、これまでの投資を有効に活用し、初期費用を抑え、トレーニングの必要性が少なくなります。

手術台は手術室の基礎です。増大するコストの圧縮のため、汎用的にも低侵襲治療にも使用できる、安全で柔軟な手術台への投資が求められます。

ボールジョイント付きの牽引バーは、臀部の自然な動きに合わせることができるため、医師は全可動域で術部に自由にアクセスできます。X線透過性のカーボンファイバー製アクセサリーは、骨格構造の再ポジショニングが正しいことを検証し、手術結果を確認して患者様の安全を維持するために不可欠な、術中診断の精度を向上させます。

いつでも利用可能

外傷を負った患者様が救急窓口に到着したときには一刻の猶予もありません。

昼夜を問わず、手術室はいつでも利用できなくてはなりません。柔軟なMaquet Yuno II手術台は、待機するスタッフの人数が少なくても、処置と医師の要求に合わせてすばやく容易に構成できます。





DAAの簡易化

人工股関節全置換のために

人工股関節全置換術で、前方アプローチ（DAA）によって侵襲を少なくすると、筋肉の外傷は少なく痛みも少なくなります。患者様はリハビリテーションを早期に開始できるため、入院期間が短くなり、通常の生活を早期に取り戻すことができます。

股関節置換術には様々なアプローチがあります。従来の側方および後方のアプローチのほか、前方アプローチは、関節に到達するために患者様の筋肉の切離または切開が少ない低侵襲技術です。筋肉組織を傷つけないことで、股関節脱臼のリスクが最小限になり、回復とリハビリテーションに要する時間を短縮できます。

これは入院期間の短縮につながり、病院にとってコストを節約できる可能性があります。

ただし、前方アプローチでは、術中を通して脚を複雑な方向に動かす必要があります。Maquet Yuno IIは、脚部の回転、外転、内転、高さの調整をスムーズに組み合わせて、手術部位へ確実にアクセスできるようにするとともに、人間工学に基づいて手術チームの負荷を少なくするように設計されています。ボールジョイント付き牽引バーが、股関節の多方向へのスムーズな動きを再現します。操作が簡単で、柔軟にポジショニングでき、安全なロックで過牽引を防いで患者様を保護します。



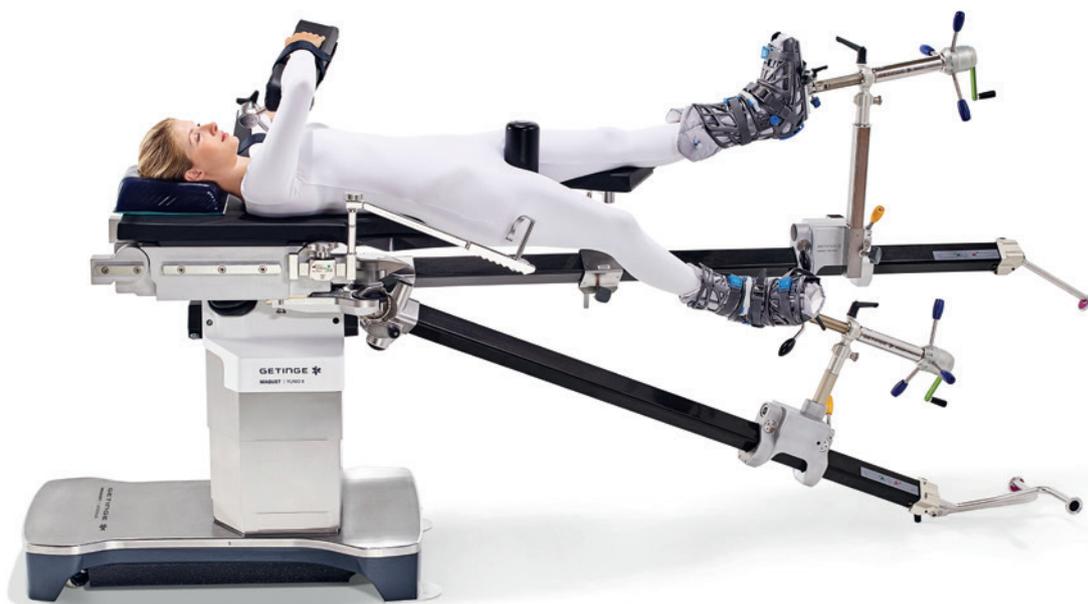
簡単なセットアップで患者様に集中

医師は、Maquet Yuno IIによって手術台の調整にかかる時間を短縮できるので、患者様に集中して頂けます。スライダーとハンドギヤが付いたスクリュー牽引装置で、牽引レベルの調整が簡単に行えます。バーの端まで装置をスライドさせることで幅広い調整が可能であるとともに、緑のハンドルで細かく調整して患者様を正確にポジショニングできます。



脚部の正確な回転でけがを防止

星形のハンドルで、術中はいつでも、脚部を適切な位置まで容易に回転できます。角度インジケーターが手足の正確な位置を特定するため、精度を確保できます。ハンドルは所定の位置に自動的に固定されるため、人為的なミスによるけがを防ぎます。



洗練された設計でワークフローを向上

制御ユニットは牽引バーの端にあるため、手術台を完全に覆ったあとも容易に制御できます。制御ユニットを手術部位から離して配置することで、医師のワーキングスペースを確保し、ワークフローを合理化します。ボールジョイント付き牽引バーは解除しても自動ロック機能が働いて、牽引装置の落下によるけがを防ぎます。



高品質のイメージングで治療成果を向上

術中イメージングは、手術の成功と安全に重要な役割を果たします。Maquet Yuno IIの牽引バーはカーボンファイバー製で、Cアームを使用して鮮明なイメージングが可能です。これによって人工関節のポジショニングをチェックして、患者様が手術室にいる間に必要な調整ができます。



牽引の最大化

股関節鏡手術の場合

股関節鏡手術（股関節鏡）は低侵襲技術で、痛みを抑え、感染のリスクを低減し、リハビリテーションの進行を早めて、治療成果を向上させる可能性があります。股関節鏡手術は、関節唇、関節軟骨、関節周辺のその他の軟組織の損傷を修復し、関節炎の発症や、全人工股関節置換が必要になるのを遅らせます。

組織に正確にアクセスするために、最大牽引下で大腿骨頭を臼蓋窩から引き出す必要があります。Maquet Yuno IIは、手術チームに快適な方法で、最大80kgの強力な牽引にも対応できるように設計されています。様々な体格の患者様に対応するために必要な柔軟性を提供し、手術室看護師に作業の負担をかけません。

腹側の関節包の緩和で患者様の安全を向上：縦方向に長く調整できるため、股関節鏡手術で最大の牽引中に、臨床スタッフが患者様の脚を腹側の関節包の苦痛を緩和する角度に持ち上げることができます。

ワークフローの簡易化：スライダーを使用すると、手術室看護師は、患者様の膝を支えてスクリー牽引装置を手術台に向かって押すだけの、1回のスムーズな動きで牽引を緩めることができます。



人間工学に基づく改善

大腿骨骨折治療の場合

体の中で最も長く強い大腿骨、これを修復させるには非常に強い圧力をかける必要があります。医師のための人間工学に基づくポジショニングと、術中イメージングのアクセスしやすさは、治療成果と同様に重要です。

Maquet Yuno IIを使用すると、外科チームは、手術台が医師と患者様の双方に理想的な構成になるように、容易にポジショニングできます。カーボンファイバー製牽引バーの洗練された設計は、大腿骨セットアップの複雑さを解消し、外科ワークフローを向上させます。

高い手術台設定が人間工学に基づいて状況を改善：必要な高さを確保できる手術台は、医師にとって快適な高さに配置できるため、背中がけいれんしたり、曲げやねじりによって疲労を感じたりすることを防止します。

イメージングの品質：医師は、カーボンファイバー製の牽引バーでCアームを使用して、ただちに結果をチェックできます。これによって、別個にフォローアップイメージングを行う必要がなくなり、時間と費用を節約でき、医師はその場で必要な調整を実施できます。



長い縦方向の調整で腹部の関節包を緩和



スライド機能でワークフローを簡易化



高い手術台設定が人間工学に基づいて医師の状況を改善



カーボンファイバー製のバーで術中イメージングが向上



イメージングアクセスの向上

骨盤骨折の場合

外傷性の骨盤骨折は、大量出血と臓器障害を引き起こすことが多く、迅速な処置と鮮明な術中イメージングが必要です。Maquet Yuno IIでは、X線透過性のエレメントをすばやくセットアップして、外傷性骨盤骨折の生存率の最も重要な治療時間を短縮します。

よりよい画像品質で安全性を向上：カーボンファイバー製の置き台、良好なX線透過の骨盤領域、カーボンファイバー製牽引バーを使用するため、術中イメージングの品質を妨げるものではありません。すべて同じ室内で、医師は患者様の状態をすばやく評価して、ただちに治療を開始できるので、よりよい治療成果が得られます。



仰臥位でも腹臥位でも柔軟なポジショニング



優れたアクセスの提供

脛骨ネーリングの場合

優れたアクセスとよりよい患者ポジショニングは、脛骨ネーリング手術の治療成果には不可欠です。脛骨ネーリングは、膝蓋の真下から脛骨に入れます。脛骨を90度以下の角度でポジショニングして膝蓋を脛骨から分離し、脛骨ネーリングのためのアクセスを改善します。脛骨へのアクセスの角度を改善するために、既存の延長アクセサリーを使用できます。

投資の価値を最大化：

Maquet Yuno IIは、既存の延長アクセサリーにも対応するため、コストを削減し、既存機器の投資効率を高めます。



脛骨・腓骨ネーリング牽引柱アダプターおよび関節バーを装備した Maquet Yuno II



イメージングの可能性の拡大

肩関節手術の場合

複雑な肩関節手術には、大きなイメージングウィンドウが不可欠です。Maquet Yuno IIは、患者様の体位を理想的なポジションに設定して、肩と上腕の全体を快適にホールドします。アクセスとX線透過性に優れた設計により、術中イメージングを容易にして、患者様の安全を向上させます。

クリアな画像でよりよい治療成果：鮮明な画像は、特に鎖骨または腕橈関節の治療で、医師が骨のポジショニングが適切かどうかを評価するために役立ちます。



X線透過性のバックプレート (1433.34AC) を装備した Maquet Yuno II



優れた安定性の保証

脳神経外科の場合

脳神経外科では繊細な神経構造を扱うため、特に優れた安定性が求められます。

Maquet Yuno IIには、いくつかの重要な安全機能が組み込まれていて、手術台の偶発的な動きを防ぎます。

安定した3点スタンド： 鋳鉄製のスタンドは優れた安定性を示し、手術台に何かがあたった場合でも、あらゆる動きを防ぎます。

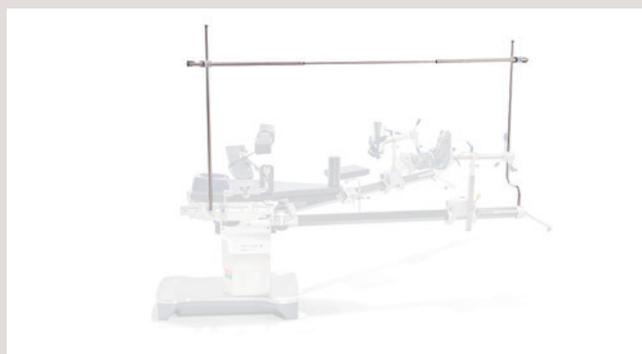
安全なロック機能： ハンドコントロールのボタンを誤って押してしまった場合でも、ロック機能が偶発的な手術台の動きを防止します。



クロスバーおよび鋼鉄製のスカルクランプを装備した Maquet Yuno II

アクセサリ

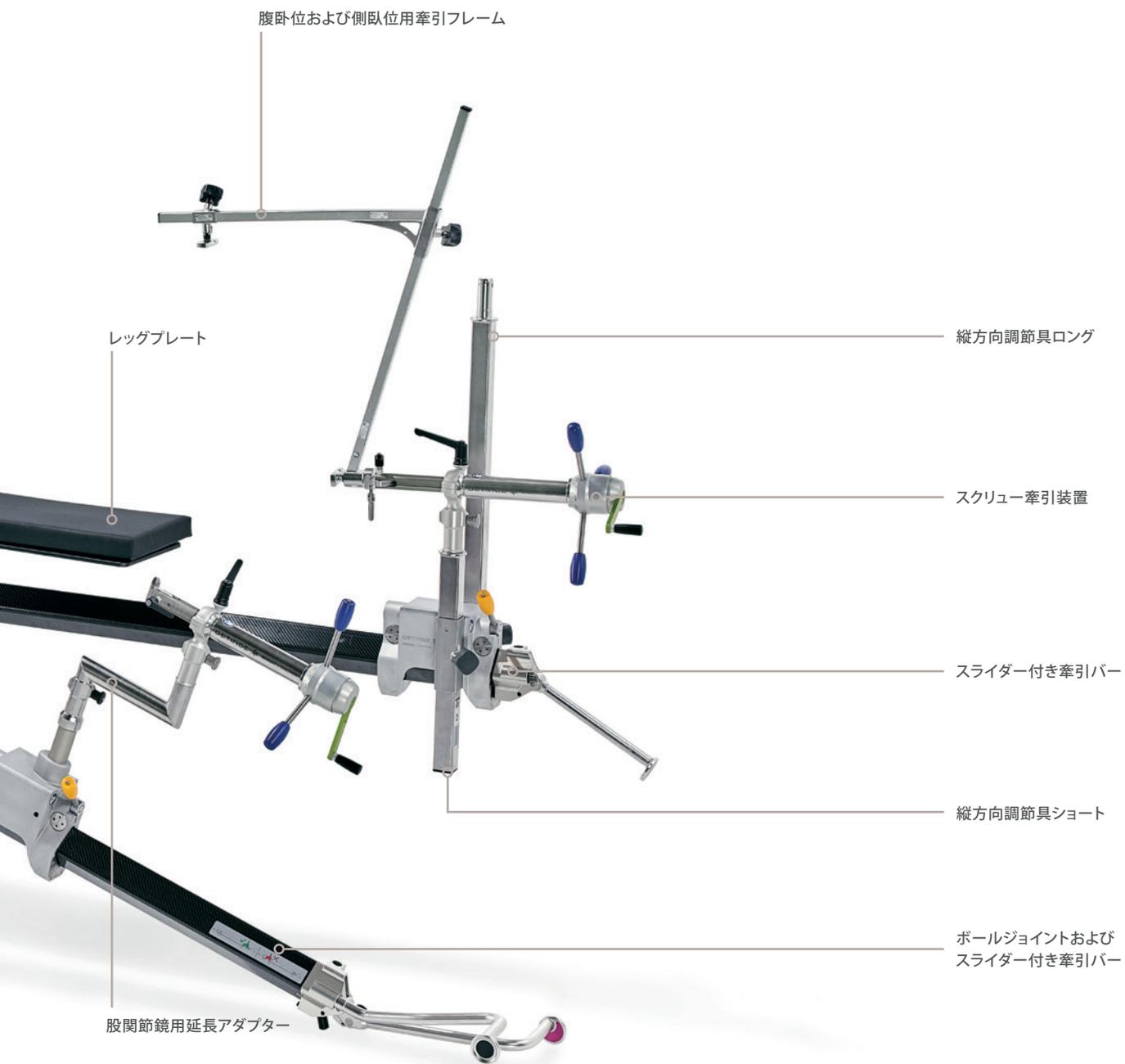
既存のアクセサリは Maquet Yuno II でも使用できるため、追加コストを削減できます。使い慣れたエレメントでトレーニング時間を少なくし、医療現場での全体的な効率が向上します。



滅菌ドレープ用フレーム



脛骨・腓骨ネーリング牽引柱アダプター



牽引バー用トローリー



アクセサリートローリー

技術仕様

技術情報

最大耐荷重 454kg

手術台の重量 400kg

EU 医療機器指令 93/42 に基づく CE の要件に適合、UL 認証

調整オプション (有線 / 赤外線リモートコントローラを使用)

高さ (パッドなし) 670-1,270mm
±30mm

トレンデレンブルグ /
リバーストレンデレンブルグ 43° ±2°

横転 23° ±2°

牽引用延長バー取り付け時の横転 15° ±2°

下側バックプレート +90° /-90°

レッグプレート
(個別調整または連動調整が可能) +90° /-90°

0 ポジション
(テーブルトップ全体またはレッグプレートのみをの水平位置)

手動セッティング

牽引バー - 脚部の外転 (外側) 45°

牽引バー - 脚部の内転 (内側) 45°

牽引バー (上方向) 15°

牽引バー (下方向) 30°

ロック / ロック解除の設定 (手術台の移動を制御)

Maquet Yuno II のバージョン

1433.02B0 EUバージョン

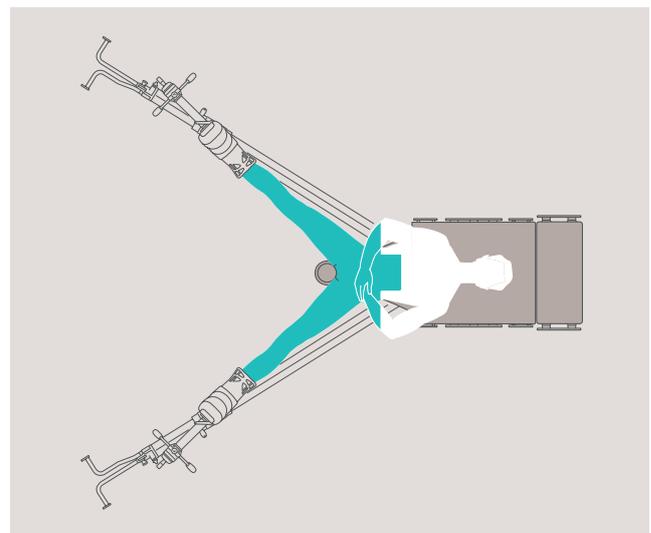
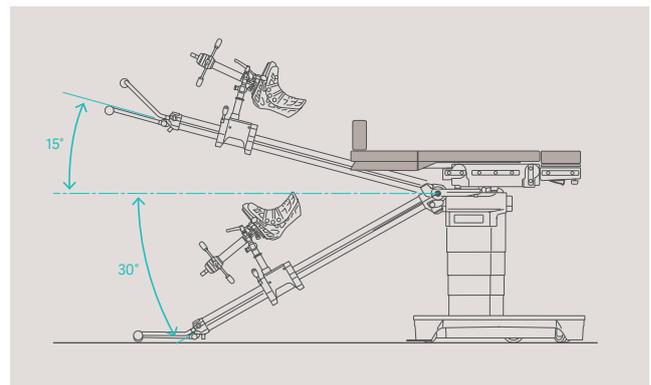
オプションのコントロールエレメント

1433.90A0 有線ハンドコントロール

1433.91A0 赤外線リモートコントローラ

1009.70A0 赤外線ハンドコントロール用
移動型充電ステーション

1009.71A0/B0 赤外線ハンドコントロール用
据え置き型充電ステーション



手術台の特長

手術台の特長

- 充電式バッテリーおよび電源で稼働（「電気仕様」を参照）
- ダブルシーベルキャスター（×4）による安定したベース構造—移動および操作が容易（ベース部が動かないようにコントロールユニットからロックできます）
- ステンレス製のベースカバー
- オーバーライドパネルのカバーには、衝撃や殺菌剤に耐久性があり、破損しにくいGFR複合プラスチック素材を採用
- クロムニッケル製のコラムケース
- ノーマル方向とリバース方向でインターフェイスが同じ
- オートドライブ機能
- センサードライブに対応

電気仕様

- 独自に設計された充電式バッテリー（1回の充電で、手術室で約1週間使用できます）
- 充電モニター（メッセージと音声で状況を通知）
- AC 100～240V（調整可能）、50～60Hzの電源から電源ケーブルを使用してバッテリーを充電
- 電撃に対する保護の形式：クラスII機器
電撃に対する保護の程度：B形装着部、外装漏れ電流は、EN60601-1の患者漏れ電流に関するCF要件に準拠

Maquet Yuno IIのアクセサリ

1433.66AC	下肢牽引プレート牽引柱3箇所対応
1433.66BC	下肢牽引プレート牽引柱1箇所対応
1433.41XC	牽引用テーブルトップ
1433.42A0	大腿骨フック
1433.67A0	ユーノ用脛骨・腓骨ネーリング牽引柱アダプター
1007.40A0	スライダーを含むボールジョイント付きユーノ用牽引バー
1007.41A0	スライダーを含むユーノ用牽引バー
1007.42AC	分割レッグプレート(1118.01/02用)
1007.43A0	スクリュー牽引装置
1007.44X0	ユーノ用移動型クランプ
1007.45A0	サポートプレート
1007.46A0	牽引バー用トロリー
1007.47A0	アクセサリトロリー
1007.48A0	滅菌ドレープ用フレーム
1007.49A0	腹臥位および側臥位用牽引フレーム
1007.50AC	大腿骨牽引柱用アダプター
1007.51A0	股関節鏡用縦方向調節具ロング
1007.51B0	縦方向調節具ショート
1007.52A0	牽引用延長バー

販売名：移動型手術台 YUNO II
一般的名称：汎用電動式手術台
製造販売届出番号：13B1X00176SW0049
クラス分類：一般医療機器
特定保守管理医療機器



Getingeは、手術室、集中治療室、滅菌部門、介護施設、ライフサイエンス関連企業ならびに公共施設向けに革新的ソリューションを提供するグローバルプロバイダーです。豊富な経験と、医師、看護師、技師、医療関係者との緊密なパートナーシップによって、Getingeは、今日そして未来の人々の毎日の生活を改善してまいります。

ゲティンゲグループ・ジャパン株式会社

サージカルワークフローズ事業部

〒140-0002 東京都品川区東品川2-2-8 スフィアタワー天王洲23F

TEL：03-5463-8313 FAX：03-5463-6856

www.getinge.com/jp

MSWOT-06-01

YUNO II

2018.07.2000P (Original 01/18)